

## 粹

乗り物は箱のよう  
人びとはそこに詰め  
込まれに行く。中  
はくたびれた生物が  
棲んでいると聞いた

判断に選択を迫られ  
るこの頭に私はアク  
リル板を立てて見え  
ていても触らなくて  
よくなるようにした

増えすぎて困ったそ  
んな時にはこの押入  
にそっと入れればい  
い分かり合えないな  
ら閉じ込めてしまえ

どろどろのアイス  
冷凍庫でほったらか  
しにすればいつかは  
固まるように別に面  
倒をみなくてもいい

いつしか皆忘れてし  
まうこの粹の正体を  
囚われることが一生  
涯続く痛みを和らげ  
てくれていることを